

## 情報セキュリティ10大脅威2025

（「個人」向け脅威）

「情報セキュリティ10大脅威2025」は、昨年発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、IPA(情報処理推進機構)が脅威候補を選出し、研究者等が審議・投票を行い決定したものです。「ネット上の誹謗・中傷・デマ」は10年連続で10大脅威に選出されています。インターネット上で誹謗中傷の書き込みをすれば、内容によって刑事責任が問われる場合があります。※ 個人向けの10大脅威は自身に関係のある脅威に対策を行うことを期待して、順位を掲載せず、五十音順で並べられています。

「個人」向け脅威（五十音順）	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	2016年	6年連続9回目
インターネット上のサービスへの不正ログイン	2016年	10年連続10回目
クレジットカード情報の不正利用	2016年	10年連続10回目
スマホ決済の不正利用	2020年	6年連続6回目
偽警告によるインターネット詐欺	2020年	6年連続6回目
ネット上の誹謗・中傷・デマ	2016年	10年連続10回目
フィッシングによる個人情報等の詐取	2019年	7年連続7回目
不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	2016年	10年連続10回目
メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	2019年	7年連続7回目
ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	2016年	3年連続5回目

参照URL <https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2025.html>

「個人」向け脅威は、すべて前年と変化がありませんでした。しかしながら、前年と同じ脅威であっても取り巻く環境も同じではありません。攻撃者は手口を進化させ、特に社会的に注目されるニュースや生成AIなどの新技術を巧妙に利用して、日々新たな攻撃を仕掛けています。常日頃から脅威に関する最新情報に注意を払い手口を知っておくことが重要です。



攻撃者

「サイバーコネクトSHIG@」定期的にソフトウェアの脆弱性情報をチェックしましょう。

←公式X

滋賀県警察本部 サイバー犯罪対策課 077-522-1231（代表）

県警Webページ→